

# 平成 30 年度三島商工会議所経営発達支援計画事業評価 実施報告

1. 日 時 令和元年7月8日（月）10:00～11:15
2. 場 所 三島商工会議所4階 会議室E
3. 評価委員 三島市産業振興部 部長 渡辺 義行 氏  
 (順不同) 三島信用金庫 元気創造部 部長 常勤理事 永松 歳雄 氏  
 一般財団法人企業経営研究所 常務理事 中山 勝 氏  
 静岡県信用保証協会 沼津支店 経営相談課 課長 市川 真弘 氏
4. 出席者 上記3. 評価委員4名  
 小島中小企業相談所長、市川経営支援課長、宇水経営支援課主幹 計7名
5. 評価方法 宇水主幹より平成30年度の当所経営発達支援計画に記載事業の実施状況及び成果等を説明した後、質疑応答を経て、委員4名により評価した。

## 6. 評価結果

### (1) 評価の基準

- A 目標を十分達成している (100%)
- B 目標を概ね達成している (80%～99%)
- C 目標を半分程度しか達成できていない、どちらかというと達成できていない (30%～79%)
- D 目標を全く達成できていない (30%未満)

### (2) 評価

#### I 経営発達支援事業の内容

##### 1. 地域の経済動向調査に関すること

総合評価	A (A=3、B=1)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての調査で目標値を達成しており評価したい。また消費動向調査のキャッシュレス化の調査の継続実施を望みます。</li> <li>・経済自体は広域化しており、管内情報だけでなく、国や公的機関が公表している情報も加工し、公表して頂けると経営面で参考になると思います。</li> <li>・国策でキャッシュレスを推進しております。地方の金融機関と連携し、キャッシュレス対応可能な店舗の拡大を図って頂きたい。</li> <li>・経済動向は本計画の前提調査であり、目標数値は十分達成している。この資料を今後より最終的な計画に活用してほしい。</li> </ul>

##### 2. 経営状況の分析に関すること

総合評価	B (A=2、B=1、C=1)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての項目で実施値が目標値を大幅に上回っており、高く評価できる。また、事業承継ヒアリングの結果を受けた有効な対策に講じてほしい。</li> <li>・目標値（件数）を大幅に上回る実績であり、高く評価致します。</li> <li>・事業承継に関して、全国ベースで経営者の高齢化は深刻です。看過すると、地域内の中小企業はこの10年間で半減する可能性があり、ヒアリング（調査）から、一歩踏み込んで地域金融機関や、M&amp;Aのプラットフォーム企業と連携し、実効性の高い経営支援を期待します。</li> <li>・活用する職員さんのレベルを統一できるよう研鑽を積んでほしい。</li> <li>・分析結果について、事業者へ効果的にフィードバックする取り組みが必要。目標に掲げた「所定のフォーマット」の導入など早期の具体化が望まれる。</li> </ul>

### 3. 事業計画策定支援に関すること

総合評価	B (B=4)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業計画策定の支援が効果的であり、セミナー受講者数が目標値を下回ったことは残念だが、Aに近いB評価とします。</li> <li>・単独で事業計画（含むBCP）を策定できる中小企業は少数だと思われます。引き続き、セミナーや啓蒙活動を通じて、実現可能性の高い計画策定の支援をお願いします。</li> <li>・各種補助金の申請支援に関してはニーズも多く、販路拡大や省力化、効率化の一助となるべく支援強化を期待します。</li> <li>・事業承継セミナーを実施してほしい。</li> <li>・BCPセミナーへの参加者が少ない。BCPに関心がない事業者が多数であり、このマインドを変えていくための継続的な取り組みに期待する。</li> </ul>

### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

総合評価	A (A=4)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回ったことを評価するとともに、伴走型での支援の質を更に高められるよう期待します。</li> <li>・計画策定後の進捗状況、実行状況の管理は重要な業務と考えます。概ね目標通りのフォローアップ実行されており評価致します。</li> <li>・フォローアップを密に行うと、より新しい内容に量・質ともにバージョンアップする可能性もあるので、今後とも策定後の支援をしっかりとやっていただきたい。</li> <li>・記載の通り、計画の進捗が劣る事業者に対しては重点的に支援するなどメリハリをつけた対応が必要。</li> </ul>

### 5. 需要動向調査に関すること

総合評価	A (A=3、B=1)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要動向調査の結果を解析し、小規模事業者の商品・サービス提供の方向性の判断や新たな需要開拓につながるような支援を期待します。</li> <li>・個店単独で需要予測することは困難であり、支援機関の役割は大と考えます。従前の反省点を活かして、信用金庫事業でも、東京都内で開催される各種商談会、物産展に協賛しており、随時ご案内しますので、活用して下さい。</li> <li>・今後も積極的に実施して欲しい。</li> </ul>

### 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

総合評価	A (A=3、C=1)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴走型の支援をさらに充実させて新たな販路開拓など需要開拓に寄与してほしい。</li> <li>・支援効果に関しては時間の係る指導であり、今後支援の充実を期待します。</li> <li>・現状、情報発信はインターネット、SNSが主流であり、より有効で効果的な配信を共に考えて行きたいと思えます。</li> <li>・今後も積極的に実施して欲しい。</li> </ul> <p>「取引応縁ネット」登録企業が800以上あるのに対し、商談成立件数が11件しかない。登録にとどまらず、積極的な活用を促す方策が必要と思われる。</p>

## II 地域の活性化に資する取り組み

### 1. 三島ブランド事業

総合評価	A (A=3、B=1)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"><li>・三島ブランドの認知度は年々高まっていると感じており、更なる向上を期待したい。</li><li>・三島ブランドの周知活動は、各種イベントの計画的な開催により行われていると感じます。</li><li>・但し、各市町で同様の地場産品のブランド化が進んでおり、同質化しないように、差別化、周知方法の工夫に努めて下さい。</li><li>・そろそろ戦略的に三島ブランドとは何かのポジショニングを確立する動きも必要と思われます。</li><li>・三島ブランドを取得することのメリットについて、更なるアピールをしていく必要性があるのではないか。</li></ul>

### 2. 箱根八里街道ツーリズム事業

総合評価	B (A=2、B=2)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"><li>・スカイウォーク等により箱根西坂の注目度も高まっており、誘客力向上に寄与する商工会議所の活躍を期待します。</li><li>・三島市の観光資源を PR する観点からも良い取り組みだと思います。観光施設を単に通過するだけでなく、市内を周遊してもらい消費することで経済の活性化につなげて頂きたいと思います。引き続き魅力的なプログラムを提供し市内の回遊性を高めて頂く取り組みを期待します。</li><li>・箱根、小田原との連携。他市との連携を模索して欲しい。ターゲットとして“オーストラリア”を検討して下さい。</li></ul>

### 3. 商店街活性化

総合評価	A (A=3、B=1)
委員講評	<ul style="list-style-type: none"><li>・三島市空き店舗数は他市町と比べて少なく商店街の活性化に寄与しており、会議所、商店街、三島市との連携が活発に行われていると判断します。</li><li>・商店街のキャッシュレスが進展するように、積極的な取り組みを期待します。</li><li>・今年 10 月にはららぽーと沼津がオープン、サントムーンも大規模な改築が行われます。無策の場合、商店街の活力が失われる可能性が高いと思います。より一層の魅力的なイベントや企画に取り組んで頂きたいと感じております。</li><li>・今後も積極的に取り組んで欲しい。</li></ul>

以上。